

## 健全化判断指標④

# 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき  
実質的な負債の  
標準財政規模に対する比率

地方債残高や債務負担行為に基づく一定の支出に加え、  
従来の決算になかった退職給与引当金等を負債とみなし算出



### ■算定方法

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額 (地方債残高・退職給与引当金等)} - \begin{matrix} \cdot \text{充当可能基金額} \\ \cdot \text{充当特定財源見込額} \\ \cdot \text{基準財政需要額算入見込額} \end{matrix}}{\text{標準財政規模 (臨時財政対策債を含む)} - \text{基準財政需要額算入額}}$$

### ■熊本市の将来負担比率

$$\frac{637,471 \text{百万円} - 424,141 \text{百万円}}{195,250 \text{百万円} - 20,388 \text{百万円}} = 121.9\%$$

\* 参考: 令和元年度決算

$$\frac{627,620 \text{百万円} - 408,999 \text{百万円}}{192,806 \text{百万円} - 20,259 \text{百万円}} = 126.7\%$$

**早期健全化ライン（400%）を下回っている**